

協議会代議員ら加え 88人体制で加入推進 ～正確な情報伝え、戸別訪問～

石巻市農業委員会



大橋会長

石巻市農業委員会（大橋邦雄会長）は、農業委員37人のほか、「農業者年金加入者協議会」の役員、代議員51人も加わった“88人体制”で農業者年金（農年）の加入推進にあたっている。数の力に加え、同協議会は農年の制度をよく知る加入者と受給者で構成されているため、推進に当たり、51人のメンバーは、農業委員会にとって心強い助っ人だ。

同委員会が最も取り組みに力を入れるのは、加入推進月間（7～9月）の3カ月間。7月の定例総会の際に、農年の制度やそのメリットについて全員でおさらいし、推進活動への準備を整える。

今年は、期間中に各自が電話や戸別訪問で働きかけた結果、現時点で4人の新規加入に結びついている。自ら申し込みのあった人を含めると8人になる。

「対象者を絞り込むために、今年は未加入の認定農業者をリストアップして推進に当たりました」と事務局の日下美香子さん。その結果もしっかり出て、新規加入の4人は全員が認定農業者だ。

保険料が全額社会保険料控除の対象になる節税効果の高さを魅力に感じて加入を決める人が多いといい、「ただこの節税効果のメリットも、自分でパンフレットを読むだけでは理解しづらい。そこを農業委員さんたちが口頭で詳しく説明することで、理解され、加入に結びついていると思います」

同委員会は、これまで毎年4～5人の新規加入者を確保してきたが、一方で「農業者の高齢化や担い手不足から、加入対象となる候補者の数が減ってきているのが課題」だという。

また、未加入の農業者の中には「後継者がいないと加入できない」「一度加入したら脱退はできない」など、誤った認識を持っている人も見受けられる。「しっかりと正確な情報を伝え、農年の魅力を1人でも多くの地域農業者に知ってもらい、さらなる加入に結び付けたい」と意気込みをみせる。

